

Weekly

Rotary



東京八王子西
ロータリークラブ

Report

持続可能な
インパクトを
生み出そう

●2026-27 年度
国際ロータリー
会長メッセージ

RI 会長 オンラインカ・ハキーム・ババロラ

2026-27 No. 5 令和 8 年 10 月 2 日

●会長標語

会長 三村 裕介

みんなで紡ぐロータリー

今週のプログラム

- 第 2880 回 (10/2)
- 会場 京王プラザホテル八王子

*三祝

- *イニシエーションスピーチ
村田晃一 会員

次回のプログラム

- 第 2881 回 (10/9)
- 会場 京王プラザホテル八王子

*卓話 青少年交換派遣生

- 滝島 綺華さん
- 「青少年交換派遣生 帰国報告会」

例会 報告

第 2877 回 ●2026・9・11 (金)

◇司会 鈴木卓会場監督補佐



鈴木卓会場監督補佐

◇開会点鐘 三村裕介会長

◇Rソング 奉仕の理想

◇お客様の紹介

東京八王子ロータリーアクトクラブ

会長 竹内 翔様

幹事 内山陽太様

会計 塩野海斗様

◇食事と交歓

100万ドルの食事

◇出席報告

小林潔正出席委員



出席報告／
小林潔正出席委員

◇ニコンニコ発表

小松政人財務副委員長



ニコンニコ発表／
小松財務副委員長

◇会長挨拶 三村裕介会長

*先週はお天気のすぐれない中、たくさんの方に納涼例

会にご参加いただきまして誠にありがとうございました。



会長挨拶／
三村裕介会長

*三祝のグラスを受け取りに三ヶ月に一度鎌倉へ行っています。今回は江の島にあるマクドナルドでランチを

しました。この場所には懐かしい思い出があります。中学二年の夏、友人がサーフィンを教えてくれるとい

うので、鵜沼海岸へ毎週のように出かけていました。

土曜日の夜になると同級生たちと一緒に最終の電車で八王子を出発するのがルー

ティーンで、他の中学校の女の子と一緒に付いて来たり

しました。皆思い思いにビーチではしゃいでいたり

して、とても楽しい青春時代でした。私はサーフボードのケースの中でミノムシ

のようになつて眠り、朝を待ちました。

*お昼になると、そのマクドナルドに行き、ビーチサンダルで入って店内を砂だらけ

にして怒られたりしたことを、とても懐かしく思い出

しました。そのお店は世界で5千店舗目ということ

後三年連続で世界一に輝いたそうです。日本の景気の良さが偲べれます。

*先ほど言ったように、他校の女の子がいつぱいいて、

そのお店で何人とデートしたかわかりませんが、チー

ズバーガーでのデートは、我ながら健全だったなと感慨

深い思いでした。



幹事報告／
田村 肇幹事

*先ほどの理事会で新会員2名の推薦がありました。後日皆さまへご案内を配信

します。

*テーブルには10/17に東京タワーにて開催のポリオ

デーのお知らせ、10/29グランドプリンスホテル高輪

にて開催の東京イマジンジョイナスRCの創立5周年

記念式典のお知らせ、12/1〜4に大阪にて開催

のロータリー研究会のお知らせ、11/20にレンブラン

トホテル東京町田にて開催の多摩南グループインター

います。またガバナナイ

トは歴史的建造物で開催さ

れます。全ての催し物の詳細については幹事までお問

い合わせください。

*メールボックスには、ウィークリー第4号、ロータリ

ーの友9月号、ポリオデーのチラシを配布しました。

*本日は例会終了後に前年度決算についての全員協議会

があります。お帰りになら

ずにお残りください。

◇助成金贈呈

東京八王子ロータリーアクト

クラブ

◇100%出席者表彰

天野順也出席委員長

◇三祝

*会員誕生祝 (順不同 会員敬称略)

山本正光 (傘寿)、佐々木章、

鈴木雅徳、山本俊明、久保朝

陽 (還暦)、松崎眞司、田中伸

幸、近藤芳弘、大平光風、高橋

由美子、粕谷良、松村光



＊会員令夫人・御夫君誕生祝

石森純子様、岸田英梨果様

平野晶保様、末木里栄様

松崎知子様、滝島由紀様

佐山正子様、鈴木由美子様

松村有紗様、秋山智様

早川真理様、大平幸希様

＊結婚記念祝（順不同 会員敬称略）

加藤直也、坂下幸夫、紺野俊也、松崎眞司、末木博、近藤芳弘、市川隆、天野順也（銀婚式）、安藤謙一郎（銀婚式）、原啓一郎、高橋光康、立花探、鈴木卓、新谷文彦

＊委員会報告

檉崎雅彦社会奉仕委員長

秋山順子親睦・家族副委員長

◇閉会点鐘 三村裕介会長

全員協議会

2025―26年度決算承認

ニコニコボックス

2026・9・11（金）

100%出席者表彰

★14年 山口 覚
★16年 神辺 和幸
★17年 石森 浩元
★18年 関 和之
★25年 諸星 宗幸
★28年 金子 裕二
★31年 大石 和春
★36年 野口 文男
★36年 三浦 眞一

★10年 秋間 勝仁
★10年 池田 勝
★10年 田村 肇
★10年 小林 潔正
★12年 田中 伸幸
★12年 鳥羽 正浩
★13年 加藤 直也
★13年 浅川 立憲
★14年 橋本 孝

★1年 近藤 芳弘
★5年 山本 俊明
★6年 三村 裕介
★8年 相川 博
★8年 榊田 義久
★9年 渕上 安
★10年 宮原 真吾
★10年 塩野 明

★は年数入り会員章
★はクリップ式公式ロゴ会員章

◇三村会長・東京八王子ローターアクトクラブのみなさまいらつしゃいませ。

◇田村幹事・八王子ローターアクトクラブの皆様、ようこそお越しくださいました。

◇檉崎博・東京八王子ローターアクトクラブの皆さんをお迎えして。

◇萩原・お久しぶりです。

◇山本正光・80才。

◇山口・13日（日）の滝島会員次女綺華さんの地区での帰国報告会、頑張ってください。

◇市川・今年もなんとか結婚記念日をむかえられそうです。

◇田中・誕生祝いありがとうございます。

◇松崎・本日は、毎年のお祝いをありがとうございます。

◇立花・結婚祝いのお花をありがとうございます。全員協議会よろしくお願いします。

◇滝島・妻の誕生祝いいただきます。

◇山本俊明・今月、誕生月です。

◇天野・3祝です。ありがとうございます。

◇久保朝陽・三祝のお祝いの品、頂きます。今月で還暦となります。

◇鈴木卓・妻の誕生祝いありがとうございます。それと最近一品担にハマっています。

◇紺野・先日は結婚記念日のお花ありがとうございます。

◇秋山・主人の誕生祝いありがとうございます。今のは私があるのは、主人のおかげです。いつもありがとうございます。

◇新谷・結婚記念日のお花を頂きました。ありがとうございます。

（順不同・会員敬称略）



九月三祝

長月（ながつき）

誕生花 えぞ菊
誕生石 サファイア

会員誕生祝

山本 正光

佐々木 雅章

鈴木 俊徳

山本 朝陽

久保 眞司

松崎 伸幸

近藤 芳弘

大平 光美

高橋 由美子

粕谷 良光

松村 光

石森 純子

岸田 英梨果

平野 晶保

末木 里栄

松崎 知子

滝島 紀子

佐山 正子

鈴木 美子

松村 由美子

早川 智様

秋山 真理様

大平 幸希様

結婚記念祝

加藤 直也

坂下 幸夫

紺野 俊也

末崎 真司

近藤 芳弘

市川 隆

天野 順也

安藤 謙一

高原 啓郎

高橋 光康

立花 探彦

鈴木 文卓

新谷 卓

鈴谷 卓

172122224252528293132373738
回回回回回回回回回回回回回回回回
（会員敬称略）

414554555555566063647280
回回回回回回回回回回回回回回回回
（還暦）

イニシエーションスピーチ
Initiation

Speech

西村和裕会員

2026年9月18日(金)

Nishimura Kazuhiro

西村 和裕

仏教曹洞宗
宗教法人 信松院
代表役員 住職
2025年7月入会 親睦・家族委員会



が戦時下へ突入しても疎開しつつ講談社に籍を置き、終戦を迎えました。戦後の混乱期、人々が娯楽を求めていた時代には会社の役員を務め、当時の人気雑誌『少年クラブ』の編集長として活躍しました。講談社時代には漫画家の田川水泡さんと共に、犬を主人公に見立てた名作『のらくろ』や『冒険ダン吉』などを世に送り出し、大人から子ども、女性まで幅広く愛される一時代を築きました。

叔父・俊一(長男)

父・輝成には兄(私にとつての叔父)である西村俊一がおりました。本来であれば長男である叔父がお寺を継ぐはずでしたが、最終的には次男である父が継ぐことになりました。

叔父はお寺を継がない代わりに芸能プロダクションの道へ進み、東宝映画の脚本家として映画制作や企画に携わりました。当時、日本初の連続フィルムテレビ映画となった『月光仮面』を制作したほか、昭和35年(1960年)にはテレビドラマ初のカラーフィルム作品である『快傑ハリマオ』や『隠密剣士』などを企画し、時代に先駆けて忍者ブームを巻き起こしました。

以降も『恐怖のミイラ』や実写版『意地悪ばあさん』を手掛け、昭和44年(1969年)には電通傘下のテレビ制作会社CALへ移籍しました。TBS系列の月曜夜8時『ナショナル劇場』枠にて、時代劇として『水戸黄門』(東野英治郎主演)、『大岡越前』(加藤剛主演)、『江戸を斬る』(西郷輝彦主演)などの名番組をプロデュースし、日本中のお茶の間を楽しませた経歴を持っています。

父・輝成

父・輝成も文京区音羽の生まれですが、戦時中は韓国へ疎開し、戦後に帰国してから宗門校である世田谷学園、そして駒澤大学仏教学部で学びました。卒業後は、祖父が勤めていた講談社の近くにあるキングレコードに就職し、民謡や児童向け童謡の制作・プロデュースに携わりました。そこで出会ったのが、私の母・敏子(大田区大森出身の長女で、実家は代々簗屋)です。

結婚してしばらくして二人は会社を辞め、信松院の住職となつて幼稚園を経営しながら生計を立て始めました。当時の信松院は、戦後の焼け野原から立ち上がった古い木造の伽藍でした。昭和44年(1

969年)、現在も残るコンクリート造りの園舎を建てて寺院経営に力を注ぎ、その後も庫裏、客殿、本堂の改装や新築、境内整備を次々と進めていきました。

本人は八王子生まれではなく外部から来た人間だったため、当初は地域や檀家になじめず、苦勞も多かったと聞いています。しかし、その苦勞をバネにして精神的・経済的に力をつけ、境内整備を進める傍らで本来の夢であった執筆活動にも注力しました。ごま書房から出版した『写経入門』は、身近に書ける写経ブームのきっかけとなり、仏教の普及と地域の交流の場づくりに貢献しました。

また、キングレコードでの経験を活かし、母と共に「まつひめ会」を立ち上げて民謡や舞踊芸能を指導しました。お寺の会館を稽古場とし、八王子まつりでの「民謡流し」や、ミス八王子コンテストの優勝者を松姫に見立てた「松姫行列」として参加するなど、地域交流に大きく貢献しました。西ロータリークラブにも入会し、会員同士の親睦を深めていきました。

国際交流にも目を向けていた父には、次のようなエピソードがあります。

ソードがあります。私が小学2年生の時、父が台湾を訪問した際、現地トイレメーカーの社名「和成」を目にし、ました。当時の私の本名(戸籍名)は「和裕」ではなく「和成」だったため、「将来台湾と交流する際に支障が出る」と考えた父により、現在の名前に改名することになったのです。小学3年生の時にロータリークラブの旅で台北や香港へ連れて行ってもらった記憶がありますが、父はその後、幾度となく台湾を訪れ、八王子西ロータリークラブと台中との交流の礎を築きました。

そして私、西村和裕の幼少期から学生時代

信松院の長男として生まれた私は、幼少期はかなりのやんちゃ坊主でした。三輪車で高台から転落して頭を負傷したり、幼稚園で友達と喧嘩をして椅子を投げつけたりと、賑やかな子供時代を過ごしました。

小学校は八王子市立第七小学校に入学しましたが、2年生から府中の私立明星小学校へ転校しました。電車通学は好奇心をくすぐられるものですが、ある日、友達と走行中の電車床の蓋を開けて覗いた

われる自転車に触っていたところ、警察に誤認連行されてしまう事件が起きました。警察署の取調室で調べを受け、無実が証明されて釈放されたものの、帰宅後は心配していた親から酷く叱られたことを鮮明に覚えています。

中学校への進学にあたっては、慣れ親しんだ仲間と明星中学校へ進むつもりでしたが、父の説得により宗門校の「世田谷学園」へ進学しました。卒業式では仲間との別れに大泣きし、しばらくは寂しさが抜けませんでした。

高校へ進学すると、生徒の自主性を重んじる校風となり、「これからは大人としての責任が伴う」と教員から諭されたことで、大人への第一歩を踏み出したことを自覚しました。

高校2年の冬、友人に誘われて初めてスキーに行きました。大宮駅から上越新幹線に乗り、長いトンネルを抜けて一面の銀世界が広がった瞬間、川端康成の『雪国』の世界そのものだと思いき感動しました。それ以来、スキーの魅力に取り憑かれ、毎年滑りに行くようになりました。高3の受験期も春のスキーを励みに勉強に励み、無事に希望していた駒澤大学仏教学部へ合格いたしました。

合格後の2月、高校卒業を目前に控えて再びスキー場を

訪れた際、大雪による雪崩で国道が閉鎖され、スキー場に取り残されるというトラブルに見舞われました。携帯電話もない時代で、翌日に控えた高校の卒業式への出席は絶望的と思われました。しかし、同行した友人が現地で出会ったカップルへ交渉し、車に同乗させてもらうヒッチハイクで三國峠を越えることができたのです。

助けていただいた方に連絡先を聞きそびれてしまったことが今でも悔やまれますが、去り際にその方がかけてくださった「この感謝を忘れず、君が免許を取ったら困っている人を助けてあげなさい」という言葉は、今も私の心に強く刻まれています。翌日、無事に卒業式に出席することができました。

大学時代と

本山・総持寺での修行

駒澤大学仏教学部に入学後は、学業に励む傍ら、ドライヴやスキーなどキャンパスライフを満喫しました。そして4年間の大学生活を終え、いよいよお寺の修行へと進むことになりました。

信松院が属する曹洞宗には、福井県の永平寺と神奈川県横浜市の鶴見の大本山総持寺という2つの大本山があります。私は鶴見の総持寺へ向かいました。曹洞宗の修行は非常に厳しいことで知られてお

り、大きな不安と覚悟を胸に門を叩きました。

正式な入山前日、「案下処（あんげしよ）」と呼ばれる施設で身支度を整え、携帯品検査等を受けてすべての私生活を捨て去ります。翌日、本山の門前に立ちますが、すぐには入れず、寒空の下で何時間も合掌したまま立たされます。古参の修行僧との厳しい問答を経て、ようやく中へ通されると、まずは1週間、昼夜を問わずひたすら坐禅に打ち込む期間が始まります。

移動や食事も厳格な作法のもとで行われます。食事には「応量器（おうりょうき）」という5層の器を使用し、規律に従って一斉に食べなければなりません。極度の緊張と足の痛み、空腹から栄養失調や脚気になるほど追い詰められました。

1週間が経過すると「看読寮（かんどくりょう）」へ移動し、法要の作法や読経、鐘や太鼓の打ち方を学びます。規律は極めて厳しく、少しのミスも許されない環境でしたが、極限状態に置かれたことで五感が研ぎ澄まされる感覚を味わいました。

その後、私は「典座寮（てんぞりょう）」に配属されました。典座とは厨房の総責任者（料理長）のことであり、道元禅師が著した『典座教訓』に基づき、食を通じて修行を行

う部署です。道元禅師は食事を作る心構えとして以下の「三心」を説かれました。

- ・喜心（きしん）…作る喜び、食する喜びを忘れない心
- ・老心（ろうしん）…相手の立場を思い、親心を持つて丁寧にする心
- ・大心（だいしん）…偏見を捨て、深く大きな寛容な心

典座寮では修行僧や参拝者など約100人分の精進料理を調理します。大量の食材の仕込みや火加減、水加減など、失敗の許されない環境で包丁仕事や調理機器の扱いを叩き込まれました。

厳しい修行生活を1年間勤め上げ、翌年3月に無事下山いたしました。過酷ではありましたが、人間として大きく成長できた貴重な経験となりました。帰山後は本山での経験を活かすべく調理師免許を取得し、また海への憧れから小型船舶免許も取得いたしました。

青年期の趣味と

家庭の形成

船舶免許を取得した後水上バイク（ジェットスキー）を購入し、逗子海岸や河口湖などで仲間と共にマリンスポーツを楽しみました。特にウェイクボードに熱中し、水上に立つた瞬間の達成感は格別なものでした。

その後、約15年間にわたり続けたマリンスポーツも、仲

間の結婚や自身の家庭環境の変化とともに一段落を迎え、水上バイクを手放すこととなりました。

住職就任と社会貢献活動

平成23年（2011年）秋、東日本大震災が発生した節目の年に、父の後を継いで信松院の住職に就任（晋山式を挙行）いたしました。

震災の2ヶ月後には市内の若手僧侶らと共に被災地である宮城県石巻市や岩手県気仙沼市へ出向き、ワカメ養殖棚の復旧作業などのボランティア活動を行いました。翌年の夏には自家用車に炊き出しの道具を積み込み、避難所で豚汁を提供する活動を実施しました。当初は被災された方々への声かけに躊躇することもありましたが、暖かい食事を通して笑顔が生まれ、会話が弾む様子を目の当たりにし、「食」が持つ人の心を繋ぐ大きな力を再確認いたしました。

また、石巻市内の幼稚園を拠点に、8月のお盆の時期に合わせて供養祭や盆踊り、花火大会を開催するなど、約6年間にわたり地域のコミュニティ復興支援を継続いたしました。

松姫様開基400年忌事業とこれからの信松院

時代が令和へと移り、住職としての職務にも慣れてきた頃、大きな節目を迎えることとなりました。信松院の開基

である武田信玄公の娘・松姫様の没後400年という節目の年です。

当初は大規模な記念事業を行うことに躊躇もありましたが、「100年に一度の機会を逃しては後悔する」と思い直し、まずは松姫様の足跡を辿る旅に出ました。長野県伊那市にある高遠城址を訪れた際、戦国時代の過酷な運命の中で武田家を守ろうとした松姫様の苦難に思いを馳せ、胸が熱くなりました。

これを機に決意を固め、祥月命日である4月16日に向けて半年前から実行委員会を立ち上げました。松姫様の坐像を輿に乗せ、幼稚園児や関係者約100名による「稚児行列」を編成し、八王子市内の公道を練り歩く計画を立てました。

準備期間の短さから周囲からは「不可能だ」との声もありましたが、関係各位のご協力により奇跡的にすべての条件が整いました。当日は警察のご配慮による交通規制のもと、沿道には読売新聞等の報道を見て駆けつけた約1500名もの方々が集まり、大変盛大な行事となりました。松姫様の偉大さと、地域の方々とのご縁の深さを改めて実感した出来事でした。

本年は410年目の節目を迎え、多くの皆様とともに報恩大供養を執り行うことがで

きました。

これからの信松院は、八王子城主であった北条氏照公や松姫様をはじめとする歴史的資源を大切にし、伝統と歴史を重んじながら市民の皆様と共に地域の交流と発展に貢献してまいりたいと考えております。

例会報告

第2878回・2026・9・18(金)

◇司会

安藤謙一郎 会場監督補佐

◇開会点鐘 三村裕介会長

◇Rソング 我らの生業

◇食事と交歓 和食

◇出席報告

天野順也 出席委員長

会員121名中71名出席。

出席率60・68%。前々回9

月4日の出席率60・34%を

76・72%に修正します。

◇ニコニコ発表

山本正光 財務委員

◇会長挨拶 三村裕介会長



会長挨拶／
三村裕介会長

*金木犀が咲き始め、むせるほどの香りが漂う季節になりました。原種は銀木犀だと聞いたことがあります。中国によく行っていたころ

が見かけたのは、薄い香りが上品な銀木犀ばかりでし

た。

*シルバーウィークには久しぶりに釣りに行く予定があり、合羽を出してみたらカビていたので、エタノールで拭いて天日干しをしているところですよ。

*この間の日曜日は、代々木で行われた青少年交換派遣生帰国報告会・来日生歓迎会と、派遣候補生の合格証授与式に行っていました。

滝島会員のお嬢様綺華さんの帰国報告には笑顔というキーワードがたくさん出てきました。ブラジルで一年間を過ごし、困難なこともあったのでしうが、彼女はそれを笑顔で乗り切ったのだと思います。はじけるような笑顔を見ることができて、我々も感動しました。

また、派遣候補生の一人である宮坂杏里さんは、当クラブがスポンサーです。中学生ですが、自分で調べて当クラブにたどり着き、直接連絡をしてきた行動力に感心しました。私と田村幹事とで面談をし、地区へ推薦しまして、見事選考試験に合格しました。宮坂さんもこれから一年をかけて研修に励み、その後一年間海外へ派遣されたあかつきには、きつとたくましく成長して帰国することと思いま

す。
*昨日は東京八王子ローター

アクトクラブの地区公式訪問へ行ってきました。竹内会長が会長挨拶で自己紹介をした際に、会社名が「光企画」であることを知り、峯尾会員の会社の社員ということを知りました。これからもローターアクトと関係

を深めて、楽しい時間を過ごしていきたいと思います。
◇幹事報告 田村 肇幹事



幹事報告／
田村肇幹事

*テーブルには、11/21(土)に日本棋院にて開催される、ロータリー全国囲碁大会のご案内を配布しました。ご興味のある方は事務局までご連絡ください。

*メールボックスには11/20(金)に町田にて開催のIMのチラシを配布しました。このあと草間副幹事より詳しいご案内をしていただきます。

*来週9/25の例会は八王子つばめ塾代表小宮位之氏の卓話があります。皆様ぜひご参加ください。

◇IMについての報告

草間剛IM実行委員

◇スピーカー紹介

塩野明 プログラム委員長
スピーカー 西村和裕 会員
テーマ インニケーション・

スピーチ

◇閉会点鐘 三村裕介会長

ニコニコボックス

2026・9・18(金)

◆三村会長・西村会員、よろしくお願い致します。

◇田村幹事・西村さんのインニケーションスピーチ楽しみです。時間がたつ。ぱり。よろしくお願ひします。

◇榎崎博・塚本相川・野口、金子、福田、福山、塩野、和田、小澤、榎崎雅彦、神保、秋山、新谷・西村和裕会員のインニケーション、楽しみです。

◇坂下・先日、三祝にて結婚記念日祝いのお花を届けていただきありがとうございます。

◇石森・妻の誕生日のお祝いを頂きました。ありがとございます。西村さん頑張ってください。

◇岡本・ロサンジェルスの娘の所に行き、ドジャース球場でカイルタッカーの打ったファールボールをゲットしました。

◇山口、吉森、小川、秋間、会田・西村会員スピーチ頑張ってください。楽しみです。

◇鈴木重春・お世話になりました。

◇西村・本日のインニケーションスピーチお聞き苦しいかもしれませんがよろしくお願ひ致します。

(順不同・会員敬称略)

卓話「つばめ塾の現状報告と方針」

2026年9月25日(金)



八王子つばめ塾代表 小宮位之氏

はじめに

当塾は2012年9月に任意団体として設立されました。設立当初は、講師である私と中学2年生の生徒1名、たった2人からのスタートでしたが、この14年間で組織は大きく成長し、これまでにトータルで367名もの卒業生を送り出してきました。翌年にはNPO法人となり、2019年には東京都から「認定NPO法人」として認められました。

現在、教室は八王子駅周辺の南口と北口、北野駅周辺、そして南大沢の計4カ所で運営しています。講師は全員がボランティアで、現在約30名が在籍しています。生徒数は常に出入りがありますが、現在は中学生が22名、高校生が7

名の計29名が通塾しています。

塾生たちの家庭環境と、厳格な入塾条件

通塾している生徒の約4割は、いわゆるシングルマザーの母子家庭で育っている子どもたちです。残りのご家庭は共働きですが、決して経済的に余裕があるわけではなく、3人以上の兄弟がいる多子世帯が大半を占めており、中には7人兄弟というご家庭もありました。

当塾では、入塾にあたって明確な条件を設けています。第一に「家庭が経済的に困窮していること」、第二に「他の有料塾や家庭教師を利用していないこと」、そして最後に最も重視しているのが「勉強へのやる気があること」です。コッコツと通って勉強することを約束して入塾してもらっているため、やる気のない生徒はお断りしています。授業中に居眠りをしたり、紙飛行機を飛ばして遊んだりするような生徒がいれば、私からはつきりと「もう来なくていい」と退塾を促します。そのた

め、現在つばめ塾に通っている子どもたちは皆、一生懸命に、そして真面目に学習に取り組んでいます。

データが示す「アンダークラス」の現状と、つばめ塾の役割

最近読んだ橋本健二さんの著書『新しい階級社会』に、現代の日本社会における格差を示す興味深いデータがありました。

同書では、非正規雇用の男性や配偶者のいない女性などを「アンダークラス」と定義しています。その平均年収は個人で約216万円、世帯年収で約379万円とされています。驚くべきことに、この数値はつばめ塾に通うご家庭の収入状況とほぼ完全に一致しています。お母様方に話を伺うと「年収180万〜200万円程度」という母子家庭が多く、共働きでも「世帯年収400万円台で子どもが5人いる」というご家庭が数多く存在します。一方、企業経営者などの「資本家階級」は1199万円であり、大きな隔た

このアンダークラスの家庭は、経済的な困窮だけでなく生育環境においても厳しい状況に置かれています。データによると「いじめを受けた経験がある」割合が約30%に上り、資本家階級の17%と比べても突出しています。さらに「不登校経験がある」割合は約11%、「最終学歴が中退」という方も約7%いらっしゃいます。

実際につばめ塾の生徒たちの中にも、親から暴力的な扱いを受けている様子の子や、いじめや不登校を経験した子どもたちが少なくありません。私たちには、家庭内の問題や学校でのいじめを直接止めることはできません。しかし、不登校を経験した子どもたちに勉強を教えることや、高校を中退しそうな生徒に「この高校に行ってみよう」という希望を持たせ、その夢を叶える手助けをすることはできます。これこそが、つばめ塾にできる最大の支援だと考えています。

学習支援の枠を超えた活動と、新たな居場所づくり

つばめ塾の主な活動は学習支援です。普段私は事務局長として運営に専念していますが、夏期講習や冬期講習では教壇に立ち、子どもたちと一緒に指導を行っています。

また、学習支援以外にも多角的なサポートを行っています。塾生・卒業生限定でカレーなどを振る舞う「子ども食堂」の運営や、高校・大学進学時に教科書代として2万円を支給する「奨学金事業」を実施しています。さらに、各ご家庭へお米やパスタをお配りする「食料支援」も行っており、最も多い時には年間2・2トンの食料を子どもたちに配布しました。米不足だった昨年も970キロをお配りし、現在も支援を継続しています。

当塾の現在のスローガンは「君が学ぼうと思う時、常に道は開かれている」です。

この理念を実現するため、今年(2026年)の夏には、八王子駅南口に新しい教室を開設しました。当塾を応援してくださる資産家の方が新築された4階建てビル3階を、敷金・礼金免除という大変ありがたい条件でお借りす

ることができました。駅から徒歩2〜3分という立地により、不登校の子どもたちも通いやすくなりました。

さらに、せっかく24時間利用できる場所ができたため、平日の昼間を活用して不登校の子どもたちを支援する「フリースクール」の運営も開始しました。ここには、中学3年間不登校だったものの「このままではいけない」と一念発起して通信制高校に入り直した17歳の男子生徒や、家庭の事情で埼玉県から引っ越してきて高校を中退し、今後の進路に悩んでいた女子生徒などが通っています。先日、西ロータリークラブ様からいただいた20万円の助成金を活用して立派なエアコンを設置させていただき、子どもたちがより快適に学べる環境を整えることができました。

アンケートが示す確かな成果と、広がる喜びの声

設立から14年目にして初めて、卒業生を対象としたアンケート調査を実施しました。18名からの回答でしたが、目覚ましい成果が確認できました。

「つばめ塾に入ってからどうだったか」という問いに対し、83%の生徒が「自宅での勉強

時間が増えた」と回答し、ほとんどの生徒が「つばめ塾で成績が上がった」と実感して卒業していきましました。さらに、「自己肯定感や物事に対する前向きさ」についても、88%が「向上した」と答えており、学力だけでなく精神的な面でも大きな成長が見られました。

卒業生からは、「将来、自分が身につけた技術で恩返しできるように成長したいです」「解けない問題があった時、一緒に考えてくれて心強かった。志望校に合格した時、一緒に喜んでくれて本当に嬉しかった」といった感謝の言葉が寄せられています。

また、保護者の方からも喜びの声をいただいています。「息子は『温かい塾だった』としきりに感謝しており、彼の人生のターニングポイントになったと思います」といった声のほか、特に印象的だったのが、長野県から立川方面へ急遽引っ越してきた生徒のお母様からの声です。「中学校で3年間不登校で、人と関わる機会がありませんでしたが、塾に通い先生と関わる中で、人と話ができるようになりました。今は高校のバレー部に入り、普通に学生生活を送れていることがとても嬉しいです。将来は動物に関わる仕事

がしたいと進学を希望するようになりました」

長野のおばあ様からもお電話でご相談を受けていたほど心配されていたご家庭でしたが、時間をかけて当塾に通い続け、見事に自分の道を切り拓いてくれました。

おわりに

最後になりますが、つばめ塾では毎年恒例の「夏合宿」を行っています。朝9時から夜9時まで、宿泊せずに12時間勉強させるという地獄のようなスケジュールですが、食事はすべて塾側で用意し、最後には皆で達成感に満ちた笑顔で記念撮影をします。ちなみに、私の3人の息子たちも全員がつばめ塾の生徒・卒業生であり、長男は「将来は俺が塾を継ぐ」と頼もしい言葉を口にしてきています。

私たちがこうした活動を継続し、子どもたちの未来を広げていくことができるのは、ひとえに皆さまからの温かいご支援のおかげです。今回も助成金を頂戴できると伺い、塾生、保護者、そしてボランティア講師に代わりまして、心より厚く御礼申し上げます。本日は誠にありがとうございます。

Rotary
District 2750



国際ロータリー第2750地区 2026-27年度 多摩南グループ

インターシティミーティング

INTERCITY
MEETING

テーマ

「行動と連携で紡ぐ、未来への贈り物」

奉仕活動の過去・現在・未来と地域へのインパクト

2026年

11月20日

(金曜日)

レンブラントホテル東京町田

例会報告

第2879回 ● 2026・9・25 (金)

◇司会 北澤秀彦会場監督補佐

◇開会点鐘 三村裕介会長

◇Rソング

それこそロータリー

◇お客様のご紹介

八王子つばめ塾

代表 小宮位之様

ボイスカウト八王子協議会

事務局長 森田忠志様

八王子消防少年団

団長 坂本隆宏様

◇食事と交歓 洋食

◇出席報告

池田勝出席副委員長



出席報告／
池田出席副委員長

会員121名中67名出席。
出席率57・26%。前々回9
月11日の出席率61・54%を
65・81%に修正します。

◇ニコニコ発表

岡本信之財務委員



ニコニコ発表／
岡本財務委員

◇会長挨拶 三村裕介会長



会長挨拶／
三村裕介会長

*関東方面ではシルバークはお天気が今一つでしたが、ゆつくりお休みできましたでしょうか？こまでまとまった連休は11年ぶりだそうで、次の5連休以上になる休みは2032年とのことです。

*昨日は卓球男子の試合に感動しました。アジア大会団体戦金メダルは60年ぶりです。また男子平泳ぎでは世界新記録が出たりと、とても景気がいいなと思っています。

*シルバークは今年二回目になる東北方面での釣行を楽しんできました。6時間ほど車で移動し、釣りを5時間楽しみ、一泊してからまた6時間かけて帰ってくるというパフォーマンスの悪い行程なのですが、泊まらせてもらう友達というのは、プロスノーボーダーの旦那さんとフラの先生である奥さんという組み合わせです。彼らは半自給自足の生活をしていて、自分たちの畑の作物と、自分たちで獲ってきた鹿とか熊を食べています。滋養強壮にはとても良くて、私も害の無いものを食べて元気になって帰ってきた週末でした。

*敬老の日という、いつもならあげるばかりでしたが、今年は1歳8ヶ月の孫が保育園で作った「にじみ

絵」に、おそらく先生が書いたであろう「おじいちゃんいつもありがとう」の文字のある作品をもらいました。息子と孫と三人で過ごした、「おじいちゃんありがとう」とか「お父さんありがとう」と言われましたが、実は自分の方こそ元気をもらっていて、奮起できる関係性に感謝の気持ちでいっぱいなんです。皆さんも元気をくれる家族や友達を大事にして過ごしていただけたらと思います。

◇幹事報告 田村 肇幹事

幹事報告／
田村肇幹事

*テーブルには、12/2(水)に開催されるロータリー財団地域セミナーのお知らせを配布しています。ご興味のある方は幹事までご連絡ください。

*昨日、八王子5クラブの10月予定表を配信しました。

*来週の例会は、新会員2名の入会式、三祝、村田会員のイニシエーション・スピーチがあります。皆様ぜひご参加ください。

◇助成金贈呈

ボイスカウト八王子協議会事務局長 森田忠志様
八王子消防少年団 団長 坂本隆宏様

◇スピーカー紹介
五十嵐勝平職業奉仕副委員長
スピーカー 八王子つばめ塾代表 小宮位之氏
テーマ 教育格差と経済格差

◇助成金贈呈
八王子つばめ塾
代表 小宮位之様

◇開会点鐘 三村裕介会長

● 2026・9・25 (金)

◇三村会長・小宮様、本日の卓話よろしくお願い致します。

◇田村幹事・つばめ塾代表小宮位之様、ボイスカウト八王子協議会森田様、鈴木様、八王子消防少年団坂本様本日はよろしくお願致します。

◇相川・小宮先生の草の根の社会貢献に敬服します。

◇山口・ボイスカウト八王子協議会、八王子消防少年団ようこそ、八王子つばめ塾の卓話、宜しくお願致します。

◇高松・いよいよ新リーグ開幕で10/3、10/4とホーム開幕戦となります。八王子の為にがんばります。

◇立花・結婚記念日のお花ありがとうございました。八王子つばめ塾小宮様のお話楽しみです。

(順不同・会員敬称略)

東京八王子西ロータリークラブ

〒192-0083 東京都八王子市旭町14番1号 京王プラザホテル八王子 8F

TEL.042-649-3751 FAX.042-649-3753

<https://www.hachioji-west-rc.org>

会長 三村裕介 幹事 田村 肇 広報委員会 浅川立憲 諸星宗幸 山本俊明 坂下幸夫 城所正雄 鈴木雅徳 原 巖 天神敏博